

月刊

みんなのボランティア情報誌

ボラナビ

No.80
4月号

無料



ボラナビの集い
「笑いについての
笑々(少々)のお話し」
4月16日(土)
10:00~12:00
詳細は12ページ

<今月の表紙イラスト>
札幌市在住の澤田知子さん

●お知らせ●

ボラナビ倶楽部のメールHPのサーバーを移転いたします。それに伴い、3月末~4月上旬まで、メールの受信などが不安定になる可能性がございます。メールを送ってもボラナビから返信が無い場合は、未着の事もございますので、お電話などでお問合せください。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

※メールアドレス・URLの変更はありません

それいけ!リサボラ 講演会報告

ボランティアカレンダー ボラごよみ2005-2006

おじゃまし隊 レッドリボンさっぽろ



リサーチボラ!

講演会報告

地域の課題を調査し、改善につなげていく「リサーチボランティア(情報収集ボランティア。略してリサーチボラ)」は2004年12月から、ボラナビ倶楽部のボランティアメンバーによって活動を始めています。

最初に取り組んだテーマは、日本では大学に通う障がい者があまりに少ないことから、「障がい者の大学進学」です。

その一環で、貝谷嘉洋さんに、ご講演をいただきました。筋ジストロフィーのため電動車いすに乗り、日常生活に全面的な介助が必要な貝谷さんは、日本の大学を卒業後、単身渡米し、6年間アメリカで大学生活を送りました。両国の生活や学習環境、ご自身の思いなどをお話していただきました。

「障がいを持ちながら **COOL** に生きよう!

(クール=かっこよく)



小学校のころはスポーツが好きで、朝早い時間のバスに乗って学校に行き、キックベースをしていました。身体に障がいが出てきて、中学は養護学校を勧められました。普通校に行きました。学校の近くに引っ越し、登下校は友達に車いすを押してもらうこともありました。高校進学は県教委に普通校進学を拒否されましたが、知り合いの県立高校の校長の口ぞえで受験できました。この頃になると障がいも進んで起き上がれなくなり、常に母が付き添っていました。当然友人ができず、学校生活の楽しみが無く、不登校になりました。

日本での大学は、筋ジストロフィー患者が非常勤講師をしている関西大学がバリアフリー化が進んでいると聞いたので決めました。しかし、日本で言うバリアフリーは、「最低限使う場所だけ、人の手助けがあって何とか利用できる」程度のもの。いつも遠慮した気持ちがありました。

アメリカを姉と一緒に旅行したとき、街のあちこちで車いすの人とすれ違いました。アメリカのバリアフリーは「普通の人が行ける場所は、障がい者もすべて行ける」というもの。そこでアメリカに留学することに決めました。障がい学生プログラム(DSP)があり、肢体不自由、視聴覚障がい、言語障がい、学習障がいのほか、エイズなどの慢性病患者も対象で、支援を受けられます。ノートをとるなどの学習支援や介助者の紹介、経済的なアドバイスもありました。24時間体制の介助プログラムもありました。

社会のコストは、介助者に頼るよりバリアフリーを進めて障がい者が自立できるようにした方が低くすみます。自分の車いすは240万円ですが、10年使うとすれば1日700円。介助ヘルパー代よりずっと安くなります。障がいがあってもできることはたくさんあります。あきらめないで挑戦することが大切だと思います。

共催：社団法人日本筋ジストロフィー協会北海道地方本部・NPO法人ボラナビ倶楽部
後援：札幌市・北海道・社会福祉法人HOP・NPO法人「飛んでけ！車いす」の会・NPO法人札幌チャレンジド・NPO法人自立生活センターさっぽろ・札幌いちご会

貝谷嘉洋(かいはよしひろ)

東京在住。1970年生まれ。10歳のときに筋ジストロフィーと診断された。電動車いすに乗り、日常生活に全面的な介助が必要。23歳で関西学院大学を卒業後、単身渡米し自立生活を始める。1999年カリフォルニア大学ゴールドマン公共政策大学院修了。2000年、手先で運転できる自家用車でアメリカ大陸一周の経験を持つ。著書に「魚になれた日」講談社、「ジョイスティック車で大陸を駆ける」日本評論社。趣味はスキューバダイビング。

講演会の感想(アンケートより)

- ・余りにもアメリカと日本の大学の違いに驚きました。日本もアメリカのようにもっと個人を尊重した社会を考えるべきだと思います。
- ・できれば道内の大学の名前を公表して改善を進めてはいかがでしょうか(大学側の了解を得て)。
- ・次男(中3)は筋ジスで車イス使用ですが、現在普通学級に通っています。大学進学には大きな関心があります。
- ・今まで身近に身障者の人がいなく、接する機会がなかったので同じ歳である貝谷さんの話を聞けてすごく良かったです。子どもの頃に身障者の子がクラスにいたりすると、一緒に成長できて身近なこととして考えられると思いました。小学校、中学校に身障者の子がいることがあたり前になってほしいです。
- ・思想の違いが結果として社会に表れている気がしました。自立を目指すこと、自立できることは権利であるべきだと思います。
- ・道東海大学に息子が通っています。大学にとって初めての車いす利用の学生ようです。事前に要望を聞いてスロープや机の配慮をしてくれたり、食堂で手助けをしてくれたりしています。本人は有意義に学生生活を楽しんでいます。



リサボラメンバーのコメント

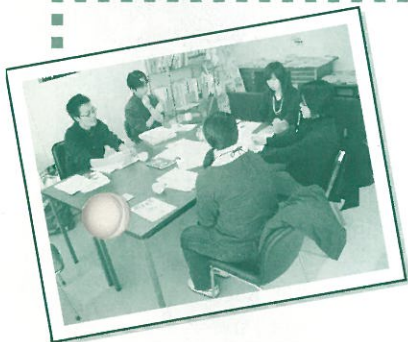
リサボラの活動は昨年12月に始まったばかり。メンバーのほとんどにとって、講演会の企画や運営は初めてで、とまどうことも多かったです。でも来てくださった方とお話したり、アンケートを見て、大変励まされました。今後も、ボランティアの強みを生かして、社会のさまざまな問題をリサーチしたいです。興味のある方は一緒に参加しませんか？

■リサボラでは

リサボラでは現在、「不登校」をテーマにした調査企画も準備中です。また、メンバーや読者から提案された他のテーマに関しても、一緒に取り組んでくれる仲間が見つかり次第、動き始める予定です。協力してくださる方や、調査したいテーマをお持ちの方は、ぜひ説明会にお越しください。

●説明会日時●

4月13日(水)11:00~11:30 ボラナビ倶楽部事務所にて。
参加して下さる方は、事前にメールでご連絡ください。



スタッフ募集 NPO法人 ボランティア杜の家

※ボランティア参加者同時募集~障がいを持っている方のお手伝いをしてみませんか。

- 職種／①ケアマネージャー(常勤・非常勤)
②介護福祉士 ③ホームヘルパー(登録制)
- 資格／③ホームヘルパーは2級以上の資格所得者(未経験者可)
- 募集地区／清田区、豊平区、白石区、厚別区、中央区、北区、東区
- 給与／①②(法人規定による)、③時給900円、交通費全額支給

- 応募方法／履歴書を当事務所までご郵送下さい。書類選考の上、ご連絡致します。
- 応募宛先／NPO法人 ボランティア杜の家
〒004-0846 札幌市清田区清田6条3丁目1-3 202
TEL:011-888-6670 FAX:011-888-6678
Eメール morinoie@rose.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www9.ocn.ne.jp/~morinoie/>

やってみる？

ボランティアカレンダー ボラごよみ2005・3-2006・2

ボラナビ倶楽部では、2005年度の「季節限定ボランティア」情報を掲載したカレンダー、パンフレット、ホームページを作成しました。

1日～1週間程度の時間があれば参加できる、札幌の季節感あふれるボランティア活動を紹介しています。初めての方も無理なく、安心して参加できるものばかりなので、「ボランティアに興味があるけど何から始めようか」、「ちょっとボランティアを体験したい」という方にもオススメです。札幌のイベントに内側から迫るチャンス！自分にあったボランティアをぜひ見つけてください。

カレンダーやパンフレットは、今月から札幌市内の図書館、スーパー、地下鉄駅などに掲示をお願いしています。

※この業務は札幌市の平成16年度「元気活動プロポーザル」事業により行いました。



●● カレンダーに掲載しているボランティア募集团体をご紹介します

5月5日 動物園での募金活動

WWFJ(世界自然保護基金日本委員会)のメンバーで作られたボランティア団体です。集まった募金は世界の野生動物保護のためにWWFJに送金します。持ち物は、昼食、防寒具、雨具。問合せ先に電話かメールで前日11:00までお申込みください。少雨決行。

- 日時/5月5日(木) 10:00円山動物園正門前集合 15:00解散
- 問合せ/パンダクラブ北海道 札幌市中央区北3条西26丁目1-12-303
TEL:011-384-0801<担当:長屋>
Eメール nagaya@shi.whitecity.ne.jp

7月17日 「サッポロ豊平川イカダ下り大会」のお手伝い

歴史ある「サッポロ豊平川イカダ下り大会」にあなたもスタッフとして参加しませんか？難しいことは何もありません。やる気！元気！そして少しの根気！があれば、誰でも参加できます。活動の内容は大会出場者募集、大会説明会の準備、大会一週間前にはスタッフ自らイカダを作成し、約2キロのコースを安全確認のため川下りを行います(乗船希望者のみ)。自然の中で遊ぶ楽しさを一緒に体験しましょう。募集対象:18歳以上です。高校生不可。募集期間:4月1日から7月13日(詳細はホームページをご覧ください)。

- 日時/大会開催日 7月17日(日)
- 準備期間活動場所/中央区民センター(札幌市中央区南2条西10丁目)
準備活動日時:毎週木曜日 19:00~21:00(時間は自由です)
- 問合せ/第31回サッポロ豊平川イカダ下り実行委員会
TEL:090-2874-7756<担当:会長・上嶋>
ホームページ <http://www.ikadakudari.com/>

5月21日・22日 さっぽろライラックまつりのボランティア

さっぽろライラックまつりの運営補助です。はがきに住所、氏名、年令、電話番号を記入し担当課に送付してください。ボランティアの内容は、会場内の巡回案内、各種行事の運営補助、運営本部の運営補助、会場の設営・片付けです。

- 日時/5月21日(土)・22日(日)
- 場所/大通公園
- 問合せ/札幌市観光文化局観光企画課 TEL:011-211-2376
Eメール jigyo@keizai.city.sapporo.jp



市民自治に基づく「まちづくり」

一人が地域を変える、一人から地域が変わる

札幌市は「市民自治推進プラン」を発表し、その中で「さまざまな要因により、これまでの行政運営のあり方が根本から問われている。今後は、地域のことは地域が決定し、その責任を担うことを前提として、市民の参加と合意に基づく「まちづくり」を進め、安心して暮らせる豊かな地域社会を築いていかなければならない」と述べています。

<まちづくり>のファシリテーション研修

当研究会では、ご自分が住んでいる地域の「まちづくり」に参加し、何かと協働し役立っていききたい、お考えになっている市民と一緒に、共に学び、共に考える「研修」を実施しています(1クール5回、会費・受講料なし)。
★参加をご希望される方は、FAXにてその旨をご表明ください！
(お名前、電話FAX番号)後日、ミーティングの日時をご連絡します。

FAX 011-752-8588 <まちづくりの実践>研究会

事務局:NPO法人グリーンヘルプジャパン北海道事務所内
札幌市東区北25条東12丁目3番12号メゾンアップル305号
>担当:ニイツマ>

広告
大募集

月刊 ボラナビ に

広告を掲載しませんか

3万2千部発行

930ヶ所配布

広告枠は2種類(記事風も有)

求人! 企業PR! オススメです

詳しくは、ボラナビ倶楽部までお問合せください

※料金は、裏表紙をご覧ください

ボラナビ おじゃまし



ボラナビスタッフがいろいろなところへ「おじゃまし」して、活動内容などをご紹介します。



この本の話は、札幌で実際にあった出来事です

とみた みなこ
レッドリボンさっぽろ 富田美奈子さん

エイズと闘ったクリスとそれを支えたレッドリボンさっぽろ。その話をつづった本について聞きにおじゃましてきました。

レッドリボンさっぽろは、エイズ患者・HIV感染者の支援や、差別・偏見の無い社会を目指し活動している団体です。毎年石狩で行われるロックフェスティバルやその他のイベントに参加したり、学校などでの講演、毎週火曜日にはエイズ電話相談などを行っています。

昨年の暮れ、レッドリボンさっぽろ事務局長の富田美奈子さんが1冊の本を出しました。「クリス・アザー・ストーリー ～エイズと闘ったクリスのもうひとつの物語～」です。内容は、エイズ電話相談から知り合った男性クリストファー・マイルス・キングさんとレッドリボンさっぽろのサポートの記録です。

クリスさんの記録を本にするきっかけをお聞きすると「クリスの遺書を読んだからです」と富田さん。遺書には「すべての死亡通知書に自分の死因が書かれること」とありました。初めエイズという病気を周りに知られたくないと思っていたクリスが、徐々に自分の思っている事を発信するようになり、そして遺書では、自分の死因を公表するようにならされていきました。それを読んで「何かしなきゃ。でも、何をしたらいいのだろう」と思ったそうです。病気と闘ったクリスの姿を思うと、一人で頑張るだけが強さではなく、自分を持ちながら、周りに助けて欲しいと言える事が本当の強さだと感じました。そして「感染者の立ち向かっている困難さは、病気そのものより、病気に対する人々の偏見である、というクリスのメッセージを伝えたい」と思い、本にしようと思ったそうです。「この本に書いてあることは、今暮らしているこの札幌で“実際にあった出来事”です。どう死ぬかを考える事は、どう生きるかを考える事にもなります」富田さんは、クリスの物語を通して、自分自身の生き方について考えてみてほしいと仰っていました。

私がこの本から思った事は、自分はエイズ・HIVに対して偏見はない、と聞いていましたが、「偏見がない」のではなく「関心が無かったのでは？」という事でした。エイズという病気は、遠い世界の話でも、特別な人たちの話でもなく、とても身近な事で、正しい知識があれば怖いものではない事を知りました。今回お話を聞いて、関心を持つことが正しい知識を持つ第1歩だと思いました。



<ボラナビスタッフ:菅原美樹>

エイズ電話相談…毎週火曜日 19:00～22:00

研修を受けた相談員が対応しています。エイズについての不安や、予防方法、検査情報、医療機関についてなど、お気軽にご相談ください。

●〒003-0801 札幌市白石区菊水1条1丁目3-18 TEL・FAX:011-812-1222

Eメール rrs@hkg.odn.ne.jp ホームページ <http://www1.odn.ne.jp/~aap16040/>

情報提供のお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、FAX又はEメール、ボラナビHP入稿フォームよりお送りください(入稿フォームだとうれしい!)。写真を1枚掲載することもできます。Eメールの際は添付ファイルでの送信はご遠慮ください。**6月号**に掲載を希望される場合は、**4月25日**必着でお送りください。情報を受けましたら、こちらから2~3日中に受付けた旨の連絡をいたします。もし連絡がない場合はボラナビまで情報が届いていない可能性もございますので、ご注意ください。掲載された団体・個人の方はぜひ、後日ボラナビにご意見や効果をお知らせください。よろしく申し上げます。尚、掲載団体とボランティアの間にトラブルが発生いたしましても、ボラナビ倶楽部では責任を負いかねますのでご了承ください。

一緒に活動してくれるボランティア募集!

「札幌麻生コスモス作業所」は知的障がいを持った方と身体障がいをもった方の通う作業所です。着物をほどいてリサイクルしたり、紙すきや、シルクプリントを行っています。こうした作業をみんなと一緒にしてくれるボランティアさんを募集しています。若い方が多く通ってきているので、大学生の方が来てくれると特にうれしいです!! 一日の中で、午前だけとか、午後だけとか参加できる時間だけでも結構です。どうぞ気軽にお問合せください。

- 日時/平日9:00~15:00
- 場所/札幌市北区新琴似10条1丁目7-17
- 交通機関/地下鉄南北線「麻生駅」より徒歩10分 JR「新琴似駅」より徒歩5分
- お問合せ/札幌麻生コスモス作業所<担当:田中>
TEL・FAX:011-727-5414 Eメール kosumosu@r8.dion.ne.jp

フットケアセラピスト養成講座

広告 5/9~

当校は、リンパ液や血液の流れを改善し体内の老廃物の排泄を促す施術を学ぶ講座。一般的普及の中国式や英国式と違い、より多くの効果を目的に開発された「JRFA式リンパドレナージュ」という技法により、オイルは使用せず、多くの栄養素含むアロエベラ化粧水とユーカリ配合乳液は女性の悩み低血圧・便秘・美白効果と免疫力の改善に期待できます。人を癒す仕事をしたいという初心者から、医療・介護・福祉従事者のスキルアップに対応でき、全科目修了者は協会公認の認定証取得と正会員に開業師資格。上級コースのリンパエステ講座も受講でき修了者に認定証発行します。

- 各コース/午後・夜間 月曜(5/9・16・23)(6/6・13・20) 土曜(5/14・21・28)(6/11・18・25)
午後13:30~16:00/全受講6回 夜間18:30~21:00/全受講6回※各コースの組合せは選択できます
- 定員・締切/定員:各8名・先着完全予約制・18歳以上 締切日時/月曜コース:5/2、土曜コース:5/9 (19:00まで)
- 会場・費用/かでの2・7(札幌市中央区北2西7)6F和室 各コース共・受講料:30,000円 教材費:7,000円(税別)
- お申込み・お問合せ/NPO法人「日本リラクゼーションフットケア協会公認 北海道校」<公認講師:小野>
TEL・FAX:011-865-6263 Eメール kazunori.0920@docomo.ne.jp 24時間対応 携帯:090-8426-6352
※希望コース・氏名・年齢・連絡先をお知らせください。案内申込書をお送りします

電話相談ボランティア養成講座

「北海道いのちの電話」では、自殺防止を目的とした、ボランティアによる電話相談を行い、助けやなぐさめ励ましを求めている人に、隣人として「電話」という手段で対話する活動をしています。2005年度のボランティア養成講座のご案内をします。25歳から60歳までの深夜のボランティアも可能な方が対象です。コミュニケーションを学ぶ研修やカウンセリングの基本知識などを研修します。申込み用紙は事務局にあります。事務局へお問合せください。

- 研修期間/2005年7月~2006年5月(前期・後期)毎週火曜日18:15~21:15 2006年6月~2007年4月(実習期間)
- 研修費用/前期20,000円 後期20,000円 宿泊研修実費約6,000円 ●定員/40名
- 必要書類/1.申込み用紙(当方指定のもの・写真付き) 2.「いのちの電話相談ボランティア」希望の理由(800字程度) 3.私の生育歴(2,000字以上)自分に影響を及ぼした出来事、人物など 4.手数料1,000円
上記1~4を同封の上、事務局まで郵送をお願いします(締切:4月30日消印有効)
- お申込み/社会福祉法人「北海道いのちの電話」 TEL:011-251-6464
〒060-8693札幌市中央郵便局私書箱107 北海道いのちの電話事務局

子ども達と一緒に、水泳・遊び・学習・野外活動などをして楽しみませんか？

北海道YMCAでは、次のボランティアを募集しています。

- ①ハンディキャップ水泳クラスボランティア:自閉症等の知的障がいのある子ども達を対象にした水泳クラスのボランティア。インストラクターの指導のもと、マンツーマンで指導補助をしていただきます。
- ②学習障がい等を持つ子どもサポートボランティア:学習障がい・ADHD等の軽度発達障がいを持つ子ども達(小・中・高生)の体験学習・遊び・個別学習などのサポートをしていただきます。
- ③野外活動ボランティア:月に一度、大自然の中で子ども達と日帰りまたは一泊二日の野外活動をします。子ども達の生活面・精神面でのサポート、活動の企画・運営も手がけます。子ども達から元気をもらえ、やりがいもあります! 詳しくは各担当までお気軽にお問い合わせください。

- 日時/①活動日:毎週月・木・土曜日15:00~17:30 ミーティング:毎月初めの各曜日ごとに実施 トレーニング:年3回(6月、9月、2月) ②活動日:土曜日9:00~16:30(月1回/体験学習、月3回/個別学習・遊び等) リーダー会(学習障がい児理解等):水曜日19:00~21:00(各YMCAにて) 対象:教育・心理・保育・軽度発達障がい等に関心のある方
- ③活動日:月1回(主に土曜日又は日曜日) ミーティング:毎週金曜日19:00~21:00 リーダートレーニング:不定期
- 場所/北海道YMCA 札幌市中央区南11条西11丁目 じょうてつバス「南11西11」下車すぐ
- お問合せ/北海道YMCA TEL:011-561-5217 FAX:011-563-0041
- 担当:①牧野 makino@kitala.ne.jp ②清水 shimizu@kitala.ne.jp ③藤田 sao@kitala.ne.jp

介護登録ボランティア募集

移動制約者の方々への外出・介護支援・介護搬送・移動サービス・民間救急車に関わる社会参加に関心のある方。北海道全般に渡り活動しています。特に通院・転院・観劇・旅行・空港送迎等のアシスタントヘルプが活動内容です。支援協力は内閣府認証NPO法人:NPO社会福祉事業振興会、認知症高齢者グループホーム:はまなす石狩:はまなすの里。

- 日時/8:00~18:00の間で都合の良い時間
- 募集内容・条件・付与/性別・年齢・介護資格不問(あれば尚可) 普通免許保持者 謝礼等は一切ありませんが、昼食時はお食事を提供します。参加時にはボランティア保険に加入していただきます。(要300円) 詳細はお問合せください
- お問合せ/「ボランティアグループかたつむり」
TEL:011-768-3820 FAX:011-762-0116<担当:事務長迄>
札幌市北区新川2条4丁目8-1 ヘルパーステーション ケアコンフォート内

一緒にスポーツをしてくれるボランティアさん募集

西区にある精神障がい者の共同作業所「マリス発寒」では、運動不足になりがちなメンバーさんと共にスポーツをしていただけるボランティアさんを募集しています。月に1~2回程度で精神障がいに理解を示してくれる方おまちしております。

- 日時/月に1~2回程度 平日
- 場所/西区発寒11条2丁目5-19
- 交通機関/JR「発寒中央駅」下車徒歩7~8分
- お問合せ/共同作業所「マリス発寒」<担当:高橋>
TEL・FAX:011-666-7136

輝く北の暮らし。

人を結ぶ、人へ結ぶコミュニケーション。



北海道新聞社

本社:〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 Tel.011-221-2111
<http://www.hokkaido-np.co.jp/>

メンタルフレンド募集

軽度発達障がいのある子、学校に行けない子(不登校、ケガや病気)などの家庭に行き、勉強を教えたり一緒に遊んだりしてくれるボランティアスタッフを募集しています。経験・資格は問いませんが、長く続けられ、固定した曜日で週2日以上活動でき、小中学生に勉強を教えることができる18~25歳の人を募集します。将来、教員や臨床心理士などをを目指す人は勉強になります。興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

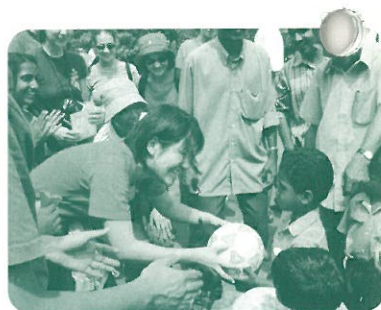
- お問合せ/メンタルフレンド「手と手をつないで」<担当:本間>
TEL・FAX: 011-824-4308
Eメール tetotewotsunaide@yahoo.co.jp
ホームページ <http://www.geocities.jp/tetotewotsunaide/>
- その他/交通費(実費)と薄謝をお支払いすることがあります

地球一周国際交流の船旅ボランティアスタッフ募集

広告

国際交流の船旅を企画するNGOピースボートでは船旅参加費割引特典のあるボランティアスタッフを募集しています!! 主な仕事内容は事務仕事から力仕事まで、様々なクルーズ出発前の準備作業となります。「ボランティア活動してみたい」という方から「地球一周したい」という方まで、年齢制限、必要資格等一切ありませんのでお気軽にご参加ください。なお、説明会は随時行なっていますので資料(無料)をご請求の上お気軽にご参加ください。

- 場所/ピースボートセンターさっぽろ
- お問合せ/「ピースボートセンターさっぽろ」<担当:若松・垣貫>
〒060-0032 札幌市中央区北2条東3丁目2-11アイシステムビル1F
(サッポロファクトリー近く)
※受付時間/10:00~20:00 日曜日休み
TEL:011-271-1665 FAX:011-271-3685
Eメール sapporo@peaceboat.gr.jp
ホームページ <http://www.peaceboat.org>



青少年山の家野外活動ボランティア養成研修会

広告

「青少年山の家」では宿泊を伴う集団生活・野外活動を通じて、青少年の健全な育成を図り、野外活動の普及・振興に努めています。この養成研修会では、「青少年山の家」利用者の活動補助を行うために必要な知識や技術を、夏には登山・テント設営、冬にはイグルー作り・スノーシューなど、実践的な活動体験を通じて楽しみながら体得できるプログラムとなっています。また、1年間の研修を修了すると山の家主催のキャンプなどで子どもたちのリーダーとして活躍していただきます。

- 日時/回数:年間7回(5月、7月、11月は日帰り研修)5/22、6/18~19、7/3、9/3~4、11/27、2/4~5、3/4~5
- 場所/青少年山の家 札幌市南区滝野247番地
- 交通機関/地下鉄南北線「真駒内駅」より送迎バスあり
- 参加費/宿泊2,500円 日帰1,000円
- 募集対象/18歳以上(高校生は除く) 修了:研修会参加率7割以上
- お申込み/官製はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号・メールアドレスを記入し5月9日(月)までに郵送
- お問合せ/青少年山の家<担当:事業係 高橋・小林>
TEL:011-591-0303 FAX:011-591-0394 Eメール naoya-kobayasi@prfj.or.jp

負荷要素の良化は、大きな社会貢献

環境会計で、豊かさを産み出す
当クラブでは、日常生活の環境、健康、美容、園芸、子育てなどにかかっている「負荷要素=ストレスor因子」を良化し、良化したプラス量を環境会計の「ものさし」で経済的効果と評価し、お金に換算してつり貯金をします。そのつり貯金は、誕生日割引の飛行機でお友達と一緒に宝塚歌劇の可視光線と生サウンドの舞台芸術の鑑賞を通し、「清く正しく美しく」生きる心を磨く生涯学習に再投資しています。
<負荷要素の良化>のインストラクト研修
家庭職場での負荷要素の良化が、地域社会の負荷要素の良化につながり、確実に「人と自然に優しいサッポロ」を実現する。何か社会貢献の活動をと考えている女性市民と一緒に、共に学び、共に考える「研修」を実施しています(3回シリーズ、会費、受講料なし)。
★研修に参加を希望される方は、FAXにて、その旨をご表明下さい!
(お名前・電話番号・FAX番号)後日、学習の詳細をご案内します。
FAX 011-752-8588 **さっぽろ女性クラブ**
事務局:NPO法人グリーンヘルプジャパン北海道事務所内
札幌市東区北25条東12丁目3番12号メゾンアップル305号
<担当:ニイツマ>

こどものためのボランティア冊子
やってみよう!ボランティア

好評
発売中

「ボランティア活動ってなあに?」「どんな活動があるの?」などの疑問についてわかりやすく解説し、活動に参加できる17の団体を紹介しています。

- A5版45頁 ○定価300円
(税込・送料別途)
- 発行:NPO法人ボラナビ倶楽部
(日本たばこ産業株式会社の助成事業)
- お問合せはボラナビ倶楽部まで!



自然の中で子どもと遊ぶボランティアスタッフ募集

自然の中で遊ぶのが好きな人、子どもたちと一緒に山や森や川や海にでかけてキャンプに登山、そり遊びや雪合戦など野外で一緒に遊んでみませんか？ ねおすでは幼児から中学生を対象に、様々な自然体験活動を行っています。初めての方も経験者の方も大歓迎です。年齢も問いません。興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

- 日時／毎月第2・3土日ほか
- 場所／札幌市内、寿都郡黒松内町または勇払郡厚真町
- 交通機関／JR「札幌駅」より貸切バスがです
- 参加費／保険代1,000円
- お問合せ／NPO法人「ねおす」＜担当:伊藤＞
札幌市中央区宮の森2条14丁目1-14 TEL:011-615-3923 FAX:011-615-3914
Eメール npo@neos.gr.jp ホームページ <http://www.neos.gr.jp>



あなたも少年たちと一緒に遊びませんか？

札幌BBS連盟は、法務省・保護観察所と連携して更生保護を目的とするボランティアサークルの集まりです。非行に陥ってしまった少年たちとレクリエーションなどで楽しい一時を過ごし、良き兄や姉・友達の立場になって立ち直りの手助けをしています。今、札幌BBS連盟の各地区では18歳～35歳位までの方と一緒に活動してくれる方を募集中です。経験がなくても、少しでも興味ある方なら大歓迎！お気軽にお問合せください。

- 主な活動／①例会:それぞれの地区のBBS会で行事予定・反省等を行う場です。②ともだち活動:会員が対象少年と友達のように接しながら立ち直りを支援したり、レクリエーションを行います。③非行防止活動:非行のない「明るい社会」を築くための啓発活動をしています。④研鑽活動:更生保護に関わる活動であるため、その心構え・知識を深める研修を行います。
- 活動地区／札幌・小樽・余市・岩見沢・千歳・苫小牧・室蘭
- お問合せ／札幌保護観察所 更生保護振興課
札幌市中央区大通西12丁目 第3合同庁舎6F TEL:011-261-9225(平日9:00～16:30)
以下の地区ではEメールでもお問合せできます
札幌 tackech@k9.dion.ne.jp 小樽 otaru_bbs@hotmail.com 千歳 chitosebbs@yahoo.co.jp
室蘭 sagano3@hkg.odn.ne.jp

絵本づくりのボランティア募集

DREAM SURF(ドリーム・サーフ)では、アメリカ・中国の小学校に「手づくりの絵本」を贈呈しています。40歳以上の方で「絵本づくり」に興味がある方、一緒に作品を作ってみませんか。去年秋には市内の小学校と上海市の小学校との交流も実現しました。これは、民間の個人の活動としては初めてのことで、と思っております。「草の根の文化交流」に力を貸して下さる方、FAXでご連絡ください(名前・住所・TELなど明記)。参考資料をお届け致します。

- お問合せ／DREAM SURF 札幌市豊平区平岸3-13-4-17-103
＜担当:棟方(ムナカタ)妙子＞
TEL・FAX:011-841-9057

お腹いっぱいサービスをあなたへ

- ☆障がいをもつ方(自閉症・アスペルガー・ADHD等障がい・年齢は問いません)のための、ヘルパー派遣業務を始めました。
- ☆共同住宅始めました(無認可のグループホーム)
- ☆その他、ナイトケア(短期宿泊)、カルチャースクール(水泳・料理等)など、いろいろやっています。

*上記の利用には、会員登録が必要です。詳細は、下記まで！

ただ今、
会員
募集中!

TEL・FAX:011-733-5020 特定非営利活動法人 岩 しえん処まんぷく堂
携帯:080-3239-7049 Eメール 1975316@mail.goo.ne.jp 札幌市東区北25条東7丁目1-17 理事長 東 大美

国際協力に興味のある学生募集

国際協力学生ネットワークN-starsnet(エヌスターズネット)は、国際協力に関心のある学生や団体間をつなぐことを目的として作られた学生団体です。札幌の大学生を中心として、情報共有のためのメーリングリストの運営や、勉強会の実施など、幅広い活動を行っています(詳しい活動内容についてはHPをご覧ください)。現在、団体の運営を行うスタッフを募集しています!国際協力に関心がある方、何かしてみたいと思っている方、一緒に活動してみませんか?興味がある方は気軽にご連絡ください。

- 対象/大学生、専門学校生
- お問合せ/国際協力学生ネットワーク「N-starsnet(エヌスターズネット)」<担当:宮谷>
TEL:080-1884-3826
Eメール chihiro-candy@u01.gate01.com ホームページ <http://nsta.npgo.jp/>

チャリティーコンサートのお知らせ

4/30

私たち「ねむの木会」は子守歌・童謡を守る為、3年前に結成致しました。災害や紛争・戦争で家族を失い、兄弟を失い、友達を失い哀しみのどん底で途方に暮れている子どもたちの為に、チャリティーコンサートを企画致しました。収益の送り先はユニセフにさせていただきます。どうぞ連休のさ中ですが沢山の方のご来場をお待ちしております。

- 日時/4月30日(土) 14:00~16:00
- 場所/クリスチャンセンター 4階(札幌市北区北7条西6丁目) TEL:011-736-3388
- 交通機関/JR「札幌駅」下車徒歩5分
- 入場料/1,000円(当日承ります)
- 内容/子守歌・ギター弾き語り・子どもによる琴の演奏など
- お問合せ/「ねむの木会」 TEL・FAX:011-762-1659 <担当:小林>



「107+1~天国はつくるもの~」上映&てんつくマン(監督)トークライブ 4/24

「知識も経験もお金もないけど少しの勇気と熱いハートはあるで」というド素人達が、環境問題や海外支援(アフガン難民の子ども達にレインボーマフラーを送るプロジェクト)、沖縄から鹿児島までの900キロの海を手漕ぎの船で渡るといふ体当たりの3つの挑戦を描いたドキュメンタリー映画です。本気で世界を変えたい監督の軌保博光改めてんつくマンは「動けば変わる」を合言葉に約200名の有志と共に飛行機までチャーターして砂漠化が進む内モンゴルに植林に行つて来ます。そんな監督の生の声が聞けるトークライブは必見です。

- 日時/4月24日(日) 18:00開場 18:30開演 21:30終了
- 場所/札幌市男女共同参画ホール(エルプラザ3階ホール)
札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ3階 TEL:011-728-1222
- 交通機関/JR「札幌駅」北口より徒歩3分。地下鉄南北線「さっぽろ駅」より徒歩7分
- 料金/前売1,500円・当日1,800円
- お申込み・お問合せ/アイデア・ワークス<担当:酒井/藤野>
お申込み、お問合せはFAX、Eメールにてお願いいたします
TEL:090-6692-2763 FAX:011-643-4025
Eメール yuka-f14@m4.dion.ne.jp ホームページ「天国はつくるもの」<http://www.tentsuku.com>



大学でのインタビュー調査の協力者募集

北海道武蔵女子短期大学の家族社会学では、ご両親の離婚を経験なさった学生(大学生・短大生・専門学校生)を対象に、「家族観」についての社会調査を行っています。該当する方でインタビューに応じてくださる方、ご連絡をお待ちしております。社会学の分野で子どもの立場から見た家族意識の変化を調査研究しています。プライバシーは完全に守られます。

- 日時/4月中随時受け付け
- 場所/北海道武蔵女子短期大学梶井研究室
- 交通機関/地下鉄南北線「北24条駅」から徒歩15分
- 料金・参加費/交通費・薄謝
- お問合せ/下記メールか電話でお願いいたします
TEL:011-709-9759 Eメール shoko@hmjc.ac.jp

ミュージカルを観ませんか～中高生無料ご招待～

4/21～23

舞台の楽しさを子どもたちに体験してもらうために、中高生を無料でご招待します(学生は2,000円)。このミュージカル「モダンガールズ」は、昭和初期、モボ・モガ時代のレビュー小屋の物語です。夢を持ち続けること、人を愛する気持ち、人と人との絆の大切さを、素敵な歌と生演奏でお届けします。ぜひご覧になってください(対象は子どもに限ります)。

- 日時/4月21日(木)19:00 22日(金)19:00 23日(土)14:00
- 場所・交通機関/札幌市教育文化会館大ホール 地下鉄東西線「西11丁目駅」
- 料金・参加費/中高生無料 学生(22才以下)2,000円
- 申込み期間・方法/3月22日(火)～4月15日(金) 電話か下記メールでお願いします。
- お問合せ/NPO法人「札幌えんかん」(札幌ユースシアター係) <担当:阿部>
TEL:011-241-7081 FAX:011-221-6260
Eメール kitaza.enyouth@mbh.nifty.com ホームページ <http://homepage1.nifty.com/enkan/>

NGO難民を助ける会25周年 特別報告会

4/10

1979年に活動を開始してから、日本のNGOの草分け的存在としての25年間の活動を振り返るとともに、スマトラ島沖大地震・津波への支援活動のためスリランカ入りしたスタッフからの最新の活動報告も行います。「NGOってどんな活動をしているの?」、「インド洋大津波の支援活動は?」この報告会でのお話から、理解が深まるはず。ご参加をお待ちしております。

- 日時/4月10日(日) 13:00～15:00ごろ
- 場所/かでの2・7(北海道立道民活動センター)520研修室
- 参加費/500円(資料・お茶代として) ●定員/100名
- その他/電話、またはホームページからお申込ください。申込み締切:4月8日(金)
- お問合せ/NPO法人「難民を助ける会」<担当:特別報告会係>
東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル5F TEL:03-5423-4511 FAX:03-5423-4450
Eメール aar@aarjapan.gr.jp ホームページ <http://www.aarjapan.gr.jp/>

スマトラ島沖地震津波チャリティコンサート「春<haru>の民族音楽会」

4/3

先におこった南の島での大きな津波被害のもと、最も大きな影響を受けている子ども達。同じ子どもを持つ立場として、そんな彼らの為になにか出来ないかと同じ保育園に子どもを通わせている親有志でチャリティコンサートの企画を立ち上げました。演目は北欧音楽、東欧ユダヤ音楽、スパニッシュギターなど。小さなお子さま連れでも楽しめる内容です。アンプ等の音響設備を使わない「生」の音楽を味わってみませんか。今回の収益金は日本ユニセフ協会スマトラ沖地震・津波緊急募金に送らせて頂きます。

- 日時/4月3日(日) 10:00開場 10:30開演
- 場所/北の星東札幌保育園内ホール 札幌市白石区東札幌2条6丁目10-22(ピンク色の建物)
- 交通機関/地下鉄東西線「白石駅」より徒歩3分
- 料金/大人(中学生以上)1,000円 小学生以下無料
- 出演/HARD TO FIND(ケルティック音楽:アイルランド、東欧、北欧諸国の音楽)、坂西太郎(スパニッシュ・ギター)、クレズマー・デュオ(東欧ユダヤ音楽「クレズマー」)
- お問合せ/北の星東札幌保育園父母・職員有志
「春<haru>の民族音楽会」チャリティコンサート実行委員会<担当:縄手>
TEL:090-1305-9836 Eメール chariconsap@hotmail.co.jp
ホームページ <http://plaza.rakuten.co.jp/charityconcert/>

北海道の知性と感性を発信するKANAIグループ。
その活躍のフィールドは、進化を続けています。

DESIGN ENVIRONMENT
MOBILE PRINTING
EVENT TOURISM CULTURE

WE ARE ALWAYS AIMING FOR HEALING COMPANY
其水堂金井印刷株式会社
〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目4-18
Tel.011-832-8191 Fax.011-832-0674
E-mail kanaï@kanaiprint.co.jp
URL <http://www.kanaiprint.co.jp>

俳句入力のボランティア募集

俳句をしています。目が見えづらいので詠んだ俳句をパソコンに入力してくれるボランティアを募集しています。文学(俳句)に興味がありパソコンの打てる、長く続けてくれる人を希望しています。興味のある方は是非お問合せください。

- 日時/週に1回 2時間~3時間
- 場所/札幌市豊平区豊平
- お問合せ/塚本 TEL・FAX:011-831-2965

託児付きボーカalsクール4月生募集!!

4/4・12・29

安心してお子さんを預けて音楽を思いっきり楽しもう! 託児付きのボーカalsクールを開校します。レッスンは月3回、10人単位1時間のグループレッスンです。託児は、障がいをお持ちのお子様、小学校低学年も可能です。託児の必要ない方も歓迎です。詳しくは下記担当者までお気軽にお問合せください。

- 日時・場所・交通機関/4月4日(月)、12日(火)、29日(祝)
スタジオ:エルプラザ3F 託児:同4F JR「札幌駅」北口徒歩3分
- 参加費/1回2,000円、別途教材費月3,000円、託児料1人700円
- その他/託児はNPO北海道子育て支援ワーカーズが担当します。5月は、2日(月)、24日(火)、29日(日)を予定
- お問合せ/Peaceプロダクションボーカals課インストラクター<担当:堀奈保子>
市民ボランティア団体Peace TEL:090-2875-7100 FAX:011-822-9504
Eメール peace-s@agate.plala.or.jp
ホームページ http://www13.plala.or.jp/volunteer_peace/

世界の腰痛治療最前線・札幌講演会のお知らせ

4/17

腰痛で困っている方や医療関係者必見の講座です。科学的根拠に基づく医療や、腰痛診療について全国各地でセミナー講演を行っている長谷川淳史氏がこの度札幌にて最新の医療情報を皆様にお届けします。

- 日時/4月17日(日) 13:30~16:30
- 場所/アムウェイ・プラザ札幌 セミナールーム(札幌市中央区北3条西3丁目 札幌大同生命ビル2F)
- 参加費/2,500円(資料代含む) 事前に電話又はメール・FAXにて予約をお願い致します
- お問合せ/「TMSジャパン」本部又は札幌支部<担当:工藤・山崎>
TEL:0166-52-7797(本部) 070-5600-3324(札幌支部) FAX:042-355-7108
Eメール info@tms-japan.org ホームページ <http://www.tms-japan.org/>

認知症・UNIT/CARE実践講座2005

4/23・24

認知症のための「柔らかな脳トレーニング講座」と、ユニットとするスタッフの仲間作りシステムについて、福井県にあります生活介護研究所代表坂本宗久の講演会です。

- 日時/4月23日(土) 24日(日) 9:30受付 10:00開始 16:40終了(2日目は16:00終了)
- 場所/NTT北海道セミナーセンター 札幌市中央区南22条西7丁目
- 会費/1日4,000円当日受付にて(定員は90名。先着順です)
- お申込み/生活介護研究所 〒912-0091福井県大野市牛ヶ原83-11 TEL・FAX:0779-66-1958
ホームページ <http://www.skk.gr.jp/>

再評価カウンセリング 体験クラスのお知らせ

4/3

アメリカから始まった「話を聴きあう」というカウンセリングの方法は、人種、年齢や性別、障がいの有無などのあらゆる違いを超えて世界各国で同じやり方でおこなわれています。この機会に再評価カウンセリングの実践と理論に触れてみてください。

- 日時・場所・交通機関/4月3日(日)13:00~16:00 社会福祉センター 第一会議室 地下鉄東西線「西18丁目駅」
- 参加費/3,000円 (参加希望の方は事前に申込みをお願いします)
- お問合せ/「再評価カウンセリングの会」<担当:津川> TEL・FAX:011-684-2525
Eメール kazu-64@crux.ocn.ne.jp

チャリティーチケット委託販売のお願い

~5/20

コンサートのチケットの1部を100枚限定でチャリティーチケット(チケットの売上の半分を団体の活動資金として寄贈)として、委託販売します。また当日配布のプログラムにはチャリティー先を明記します。お願いするのは券売だけです。詳細はお問合せください。

- コンサートの日時・場所/5月20日(金) 5月21日(土) 開演19:00 小樽市民センター・マリンホール
- その他/一回券20枚の委託販売で30,000円を寄贈。(お申込みは20枚からお願いします)
申込み締め切りは5月2日です
- お問合せ/「アプローズ453」<担当:高野> TEL:0134-54-4174 FAX:0134-54-4182
Eメール info@453otaru.net ホームページ <http://453otaru.net/>

ボラナビの集い

2月のボラナビの集い「NPOの勉強会」

「NPOを立ち上げたいが、どうしたらいいのか」、「北海道のNPO事情を知りたい」。こんな声にこたえるために、2月の集いは、NPO法人「北海道NPOサポートセンター」の小林董信事務局長をお迎えして、NPOの勉強会をおこないました。同サポートセンターは、NPOについての相談業務や活動支援を行っていて、たくさんのノ



ウハウや資料、実績をお持ちです。参加者は、予定を上回る45人となり、中にはメモを取りながら熱心に耳を傾けている姿もありました。

はじめは、北海道のNPOの認証数、ケースごとの窓口紹介、言葉の説明などがあり、次に税制のお話、「指定管理者制度」についての説明、最後は質疑応答でした。指定管理者制度とは、今まで行政などが行ってきた公共施設の管理をNPO法人や企業もかかわることが可能になるというものです。メリットとして、質の高いサービスが提供できる、経費の縮減が図れる可能性が高い、などが上げられています。

参加者からは、定期的な勉強会の希望や「細かい実践的な話にも及び、意義のあるものだった」「まわりの方の前向きな様子を見て、刺激になった」などの意見をいただきました。

(ボラナビスタッフ:村上)

NPO法人「北海道NPOサポートセンター」とは

NPO法人申請手続き、相談、書類作成等のサポートをしています。初回相談無料。講師派遣やワークショップの開催についてもご相談ください。

■NPO法人「北海道NPOサポートセンター」

札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階

TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524

相談センター:札幌市中央区北5条西6丁目2札通ビル8階

TEL:011-271-5208 FAX:011-281-8807

TSUDO INFO

4月の集い「笑いについての笑々(少々)のお話し」

ゲスト 北海道笑ってもいいんでない会 副笑司長 工藤俊彦さん

4月の集いは「北海道笑ってもいいんでない会」の工藤俊彦さんのお話をうかがいます。関西では平成6年に、笑いに関する研究を行い、文化的発展に寄与することを目的として「日本笑い学会」が設立されました。北海道でも、その趣旨に賛同して、設立日を「ハハハ」にちなみ、平成8年8月8日に全国6番目の支部として発足しています。学問とは違う、市民参加型の北海道に根差したユニークな楽しい学会を目指し、講演活動の他、笑いに関する研究などをおこなっています。

4月の集いでは、会の活動や、「笑い」の健康への効用についてお話していただきます。また、工藤さんたちが取り組んでいる、なぞ掛けや、やりくり川柳など、大喜利に見られる「ことば遊び」についてもご紹介していただきます。「笑い」は心のエネルギー。楽しく笑って時間を過ごしませんか? 多くの方のご参加をお待ちしています。

北海道笑ってもいいんでない会 <http://homepage3.nifty.com/warai888/>

- 日時/4月16日(土) 10:00~12:00
- 場所/ボラナビ倶楽部事務所(予定)
- 参加費/500円(お茶お菓子代含む)
- お申込み/4月11日(月)までに、ボラナビ倶楽部へご連絡ください

ボラナビから:
健康に関心のある方、福祉施設やボランティアをされている方など
"笑いに関心のある方"に特に
おすすめです。



2月の

事務局の1か月を
振り返りつつご紹介



ただいた。ありがとうございました。●ボラナビ3月号納品。
●ボラナビは毎号、色を変えている。体裁に、みなさんのご意見
ご希望をぜひお寄せください。●北海道新聞夕刊にリサ
ボラの活動が掲載された。



18日(金) ●北海道新聞朝刊に、「やってみよう!」をボラナビが発行したことについて取り上げていただいた。「やってみよう!」については7ページ下。●退職後に、趣味の囲碁とマージャンの相手でボランティアをしたいという問合せがあった。自宅近くの老人施設などを案内した。

19日(土) ●リサボラ。不登校をテーマにした企画の準備。新しくリサボラに加わりたい方への説明会も実施。リサボラで調査解決したいテーマを持ってきてくれた方がいた。

20日(日) ●8日におこなった貝谷氏の講演の抄録が北海道新聞朝刊に掲載された。

21日(月) ●2月号に掲載した某団体の求人広告に70人の読者から問合せがあった、とお礼の電話をいただいた。全ての広告にこれほど効果があるわけではありませんが、嬉しいです。

22日(火) ●スタッフミーティング。案の定、午前の2時間では終らず、夕方に持ち越した。

23日(水) ●イオン桑園店さんから、「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン04下期助成」の金額のご報告をいただく。ボラナビを指定して、レシートを箱に入れてくださった皆様、ありがとうございました。

24日(木) ●ボランティアの細田さん、村形さんが、月刊ボラナビに掲載するボランティア情報の入力に来てくれた。昨日も月刊ボラナビを小中学校に送る準備作業などのために来てくれている。ありがとうございました。●3月のボラナビの集いのゲスト、近藤恵子さんがいる「女のスペース・おん」。リサボラ高山さんと森田が打合せに行った。虐待を受けている子どもの現状のさわりをうかがっただけで、深刻さが伝わってきた。●苫小牧の方お二人から、「やってみよう!」購入の申込みがあり。前日の苫小牧民報に、記事が掲載されたため。

25日(金) ●ボラナビの軽作業を手伝ってくれるボランティアさんとリサボラのメンバーを2月号で募集したところ、今日現在32人の方が登録してくださった。みなさんと面接したが、いろんな興味や特技をもっている方ばかりで、「パワーを合わせると、なんでもできそう!」と夢が広がる。●月刊ボラナビのイラストを描いているタケダミヨさんが来所。企画中の事業やボラナビ新HPのデザインとの打合せ。●ボランティアの島田さんがボランティア情報の入力作業に来てくれた。

28日(月) ●ボラナビ倶楽部やスタッフが、これまでに新聞や雑誌に掲載された数は150回以上。そのうち20程の記事をボラナビの新HPにアップするため、ボランティアの方々に自宅でデータ入力と校正をしていただいた。島山さん、森田さん、花島さん、川崎さん、桐山さん、細田さん、ありがとうございました! ●UHB番組審議会に森田が出席。

1日(火) ●豊平区高齢者大学で森田がスピーチとワークショップをおこなった。諸先輩方80人の「地域課題を解決するためのアイデア」の発表に刺激を受けた。●喫茶店カフェパブリッシュを訪問。「NPO法人手と手」と「NPO法人北海道デプロジェクト」の事務所も入っている。店員さんはみな耳が聞こえない方たちで、小規模作業所として運営しているそう。おしゃれでおいしかった。

2日(水) ●8日におこなう貝谷さんの講演会の参加予約が、定員の50人になった。この後の申込者を断ることはできないけど、ギューギューになりそうで心配。そして予感はお中…。

3日(木) ●音楽やダンスで活動している団体について問合せがきた。これまで掲載した中からいくつかの団体をお伝えした。●北海道公立学校事務職員協会石狩支部の研修会で森田がスピーチ。

4日(金) ●スタッフミーティング。ボラナビでやりたい新企画があるので、資金調達方法を含め、検討していくことになった。後日、某企業が、いい企画には費用を支援するという情報が入ってきた。グッドタイミング!(受ければ、ですが)

5日(土) ●ボラナビ倶楽部リサーチ・ボランティア(略してリサボラ)のミーティング。当初から参加してくれていたメンバーの一人が、家族の事情でしばらく休むことに。寂しい。

7日(月) ●「託児ボラをしたい」という保育士を目指す方から電話あり。2月号に同様の情報を見たが、千歳で場所が遠いので近場でないかの問合せだった。これまでに掲載した団体2件を紹介した。

8日(火) ●貝谷さんの講演会。詳細1~2ページ。

9日(水) ●3階にあるボラナビ事務所の窓の外に、人影が見えてびっくり窓掃除の人だった。

10日(木) ●江別市行政改革推進委員会に森田が出席。

12日(土) ●ボラナビの集い。詳細12ページ。●リサボラ。8日の講演会の振り返りと、今後を話し合った。不登校をテーマにリサーチしたいというメンバー2人に、サポートしようという仲間が集まったので、具体策を話し合うことになった。

15日(火) ●前月3月号の版下が完成し、スタッフとボランティアさんで、誤字がないかチェックした、が、見落としあり。印刷直前に、(株)アイワードの方が発見してくださりセーフ。発見していただいたのは初めてではない。ありがとうございました。●4月号から、月刊ボラナビへのボランティア掲載依頼受付は、総務や会計と並行して村上が担当する。村上「この仕事をするのは2年ぶり。皆さん、どんどん情報をお寄せください」。なお、これまで、その担当だった菅原は、月刊ボラナビの特集ページとメルマガ配信、ボラナビ新HPを担当。合間に、助成金の申請を行う。菅原「がんばります…」

17日(木) ●前月3月号の「事務局こぼれ話」に書いた「元気音楽まつり」実行委員の札幌市職員有志のみなさんのお昼休みにお邪魔し、情報交換と、当日の収益をご寄付い



記者クラブをご存知ですか？

イベントを行う時など、情報を新聞やTVで広報してもらいたいと思ったら、記者クラブを利用してみたいはいかがでしょうか。

「記者クラブ」は、自治体や国の機関など公共性の強い場所にあり、新聞・通信・テレビ各社の記者が参加し公共的情報を迅速に発信するという役割を担っています。

公共的情報の他に、市民からの情報を報道機関に提供する窓口として利用する事もできます。

●記者クラブの利用の仕方

広めたいイベントなどのパンフレットや内容をまとめた文書を用意する。

(文書の内容は、記者が記事にしやすいように広報したいイベントなどの目的を詳しく書き、日時、場所、内容、対象者、主催、後援なども書く。主催団体の活動内容なども明記した方がわかりやすい)

その際、問合せ先(電話番号、住所など)、担当者氏名は必ず明記する。

記者会見をしたい場合は、その内容や開催場所、日時などについて、記者クラブの幹事社(その月の記者会見の段取りを担当している新聞社)に相談する。

各記者クラブへ上記の資料を持参、又は郵送する(道政記者クラブを利用する場合は29部、市政記者クラブは25部)。

※記者クラブに情報を流すと、必ず掲載される、又は取材が来る、というものではありません。掲載される場合も、道庁記者クラブに情報を流したから全道版に載る、というものでもありません。

詳細は、各記者クラブへお問合せください。

道政記者クラブ(受付時間:平日9:00~17:00)

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目2F
TEL 011-231-4111(代表)

市政記者クラブ(受付時間:平日9:00~17:15)

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目11F
市政記者室内
TEL 011-211-3310

※記事になっても、掲載したメディアから連絡がこない場合もあります。

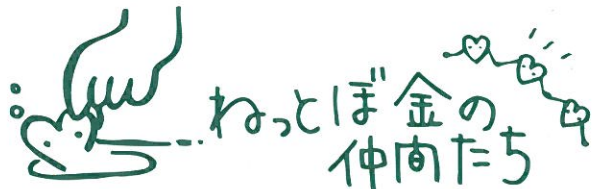


今月からこのコーナーがスタートします。トップバッターを命じられました宮崎です。どうぞよろしく願いいたします。

2004年は代表の森田とスタッフ3人でごじんまりとやっていた(引きこもっていたとも言う?)ボラナビですが、「2005年はもっと開かれたボラナビにしよう!忙しいからできないではなく、できる人に手伝ってもらおう!」とボランティアさんを募集したところ、たくさんの方に賛同していただき、リサーチボラさん・軽作業ボラさん合わせて総勢三十数名の大家族になりました。

みなさん色んな経験や夢をもって、お話するととても刺激を受けるし、自分以外の人生を疑似体験したような気分になります。ボランティアしてくださる方々に、してもらえばかりでなく喜んでもらえるように、ボラナビと共に私も、成長する一年にしていきたいと思えます。

(スタッフ 宮崎恵理子)



「ねっとぼ金」に新しく登録した団体をご紹介します

NPO法人「源」

主にHPにおいて、日常生活上必要な知識や慣習について伝える「日常生活上の悩み」コーナーを中心として、対人関係を学ぶ機会を提供しています。

〒001-0019 札幌市北区北19条西3丁目2-33-100

NPO法人楽しいモグラクラブ内

TEL・FAX:011-758-3232

Eメール mail@npo-gen.com

ホームページ http://npo-gen.com/

ボラナビの配布先 ボラナビは毎月25日に発行しています(930カ所にて無料配布中)。今月は東・西・手稲区の配布場所をご紹介します。

●東区/大谷短期大学/札幌福祉専門学校/吉田学園/イオン札幌ショッピングセンター元町店/コープさっぽろ(新道店・幌北店・元町店)/札幌東急ストア北栄店/札幌フードセンター(カスタム店・新道東店・元町店)/スーパーJOY(ブライスマート苗穂店・モエレ店)/ビッグハウス(光星店・苗穂店)/フレティ(北35条店・元町店)/北雄ラッキー(北30条店・北49条店・苗穂店)/ホクレンショップ(東苗穂店・49条店)/ポスファル東苗穂店/ラルズ伏古店/樹文教堂新道店/ごまぼろ鶴喜北38条店/バリッシュ/札幌信用金庫(光星支店・栄町支店・鉄北支店・元町支店)/北海道銀行(北15条支店・栄町支店・札幌支店・東苗穂支店・北栄支店・美香保支店・元町支店・光星出張所)/さっぽろ村コミュニティ工房/札幌日産自動車(北支店・東苗穂支店・北光支店)/TSUTAYA光星店/積心会病院/㈱日産サティオ札幌(北支店・東苗穂営業所)/㈱ホンダプリモ北札幌(本店・麻生店・百合が原店)/㈱ホンダクリオ札幌(東伏古店)/㈱ホンダベル/札幌東営業所/中和石油(北8条・元町・FWモエレ沼)/アシア勤務青少年ホーム/丘珠郵便局/札幌中央郵便局/栄地区センター/東区区民センター/東区社会福祉協議会/東区役所/元町図書館 ●西区/美芸学園福祉家政専門学校/コープさっぽろ(琴似24軒店・宮の沢店)/札幌東急ストア(福井店・平和店)/札幌フードセンター琴似店/西友(西町店・宮の沢店)/スーパーJOY(東八軒店・発寒中央店・西町店)/フレティ(琴似店・山の手店)/北雄ラッキー(西野店・西野2号店・山の手店)/ラルズ発寒店/くすみ書房/ダイヤ書房発寒店/樹文教堂(琴似店・西野店)/ごまぼろ鶴喜琴似店/サッポロ珈琲館八軒店/佐藤水産/たじま屋/札幌信用金庫(琴似支店・発寒支店)/北海道銀行(琴似支店・西野支店・西野二股出張所・八軒支店・宮の沢支店)/北海道労働金庫札幌西店/札幌日産自動車(西支店・札幌日産サティオ札幌(サニウエスト・発寒営業所)/㈱ホンダクリオ西札幌(中央店・琴似店・宮の沢店)/㈱ホンダベル/札幌西営業所/中和石油(西町)/JR琴似駅/北電札幌西営業所/新発寒地区センター/西区社会福祉協議会/西区民センター/西区役所/西野地区センター/発寒地区センター/山の手図書館 ●手稲区/コープさっぽろ(手稲店・西発寒店・星置店)/スーパーJOY(稲穂店・前田店)/西友手稲店/ラルズ宮の沢店/樹文教堂メディア館宮の沢店/北雄ラッキー手稲店/ホクレンショップ(新発寒店・前田店)/可否茶館手稲店/ごまぼろ鶴喜手稲前田店/北海道銀行(手稲支店・星置支店・前田出張所)/札幌日産自動車(手稲支店・㈱日産サティオ稲穂営業所)/㈱ホンダクリオ西札幌手稲店/㈱ホンダベル/札幌手稲営業所/中和石油(FW西宮の沢)/JR手稲駅/曙図書館/手稲コミュニティセンター/手稲区社会福祉協議会/手稲区民センター/手稲区役所/星置地区センター

今月寄付してくださった方々 (ラリル順)

株式会社リクルート北海道じゃらん様
渡邊克彦様
泉健一郎様
エックス様
株式会社HBA様
株式会社NTTドコモ北海道様
元気音楽まつり実行委員会(札幌市職員有志)様
札幌信用金庫様
札幌通運労働組合様
城宝和茂様
進藤芳彦様
株式会社タカノ様

T.M様(名寄市)
たなかしんご様
株式会社土屋ホーム様
寺岡ファシリティーズ株式会社様
道路工業株式会社様
中道リース株式会社様
株式会社ニトリ様
株式会社はしもと ごまそば鶴喜様
幅本印刷株式会社様
ほくてんぼるねっと(北海道電力株式会社)様
北雄ラッキー株式会社様
株式会社北海道アルバイト情報社様

北海道紙商事株式会社様
北海道新聞社様
北海道旅客鉄道株式会社様
北海道労働金庫様
本田技研工業株式会社北海道営業部様
ヤマトロジスティクス株式会社様

寄付金について

一口500円より寄付金を受け付けています。

※月刊ボラナビの発行は、企業や個人の皆様からの寄付金でまかなっています。10,000円以上の寄付金をくださった場合は、お名前を誌面でご紹介しています。ぜひ、ご協力ください。(政治団体・宗教団体などはお断りさせていただく場合があります。ご了承ください。)

■情報掲載料金(各1号につき)

種類	大きさ(天地×左右)	価格
企業・行政など広告A	50mm×157mm	63,000円
企業・行政など広告B	50mm×76mm	31,500円
NPO・NGO 求人・活動A	50mm×157mm	10,500円
NPO・NGO 求人・活動B	50mm×76mm	5,250円
NPO・NGO ボランティア募集・イベント情報	定型	無料
企業・行政などボランティア募集・イベント情報	定型	10,500円
バナー広告	30ピクセル×234ピクセル	52,500円

※基本的に前払いでお願いいたします。
※左記の価格はご自身で制作された場合の価格です。ボラナビ倶楽部に制作を依頼される場合は、別途ご相談ください。
(A=6,300円、B=4,200円、バナー広告=6,300円)
※誌面構成上、広告スペースは白地とし、スペース全体にベタ引き・アミ引きの使用はご遠慮ください。

※有料掲載を依頼された団体のチラシの送付をサービスしています。詳細はお問合せください。

■定期購読のご案内

●各号1部(6ヵ月間).....1,575円 複数部数を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問合せください。

●お申し込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡下さい。

※この金額は印刷、郵送費には足りていません。定期購読のお申し込みをされる場合(特に企業でお申し込みの場合)は、協賛をご検討くださいますようお願いいたします。協賛については上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部へのお振り込みは

■郵便局/02700-1-5671

■北洋銀行北7条支店/(普)3662056 ■北海道銀行札幌駅北口支店/(普)0816050 ■北海道労働金庫道庁支店/(普)3153060

■口座名:ボラナビ倶楽部 ※銀行口座振込の際は、ご連絡先をボラナビにお伝えください。

■コンビニエンスストア

ねっとほ金のサイトから申し込みいただくと、専用のコンビニ払込票をお送りします。ご利用ください。

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi>

〒060-0005
札幌市中央区北5条西6丁目2-3F
TEL 011-242-2042 FAX 011-242-2043

発行日/2005年3月25日
発行部数/32,000部
代表/森田真美子
印刷/株式会社アワード

PRINTED WITH
SOVINK
この印刷物は環境にやさしい
大豆インキと再生紙を使用しています。

ボラナビ倶楽部より
おねがい

〇 札通の

はこび愛ネット

<http://www.sattsu.co.jp/hakobiai/hakobi.htm>

Thank You!

2001年2月~2004年9月までで2,358,929円をボラナビ倶楽部に還元していただきました。多くの読者のみなさま、北海道新聞社様、NTTドコモ北海道様、㈱アイティ・コミュニケーションズ様、ご利用をありがとうございました。

札幌通運株式会社(略称・札通)のサービスを利用する際、「ボラナビに還元して」と言っていただくと、札通からボラナビ倶楽部へ売り上げの一部を還元します。

札通の引越し

(事務所移転から単身バックまでOK!見積もり無料) (大手旅行代理店のパッケージツアーも同金額、同サービスで取り扱い中)

札通トラベルの旅行

(車検・修理の他、マイカーの購入も可能)

札通自工の車検

ご利用の際は、札通はこび愛ネット推進事務局までご連絡ください。TEL 011-251-4111・FAX 011-231-7063